教育課程　３道３

第３学年○組道徳指導案

平成２８年　　月　　日（○曜）第○時限

指導者　　○　○　○　○

１　主　題　　規則の尊重、公徳心〈Ｃ－１１　規則の尊重〉

２　教材名　　校外学習のやくそく（出典　あかるいこころ）

３　主題設定の理由

1. ねらいとする価値について

社会生活や学校での集団生活は、個人が約束やきまりを誠実に守ってこそ成り立つものである。個人の身勝手な行動は、周りの人を不愉快にするだけでなく、場合によってはトラブルを引き起こすことさえある。将来社会に出た時に秩序を守る大人に成長させる必要がある。また、集団生活や公共の場では、互いに気持ちよく過ごすために、きまりを守る必要があることに気づかせることが大切である。

1. 児童の実態について

　本クラスの児童は、きまりやルールは守らなくではいけないと理解しつつも、自己の欲求に任せてルールを違反してしまうことが多くみられる。また、クラスの仲間や教師に注意されると、「でも、だれだれもやってた。」「僕だけじゃない。」など、言い訳が出てくる児童も多い。

　この時期の児童は、きまりを守らなければならないことを理解している。しかし、きまりを破ることで周囲にどのような迷惑がかかるかといったことに考えが及んでいない。そのため、きまりを窮屈に感じたり、利己的な考えで自分の欲求や都合を優先してしまったりすることも多い。きまりを破ってしまった時の気持ちや、きまりを破ることで周囲にどのような迷惑をかけているかを考えさせることで、きまりを守ってよりよく生活しようとする気持ちを高めたい。

1. 教材について

　本教材は、安易な気持ちできまりを破ったけんじたちの行動が周りの人を不愉快にさせ、迷惑をかけてしまったという話である。児童にとって身近な校外学習での出来事を取り上げ、友だちに注意されながらも誘惑に負けてきまりを守れないけんじの気持ちを考えさせる中で、ねらいに迫ることができる教材である。

４　ねらい

◯　きまりを守らなければいけないと理解しつつ、ゲームをやりたい誘惑に負けてしまった主人公。その主人公の気持ちや行動に対して共感したり批判したりすることを通して、きまりやルールを守らなければいけないという気持ちを高める。

５　準　　備　（教）フラッシュカード 名前プレート

　　　　　　　（児）授業後アンケート

６　指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学　習　活 動（主な発問と予想される児童の反応） | 指導上の留意事項 |
| 価値の追求把握 ・ 自己の生き方の自覚(37) | １　教材について、話し合う。1. 「けんじ」「みき」「あい」の言動に対して言いたいことを発表する。

○けんじ* + 自分のやりたいことばかり優先しちゃだめだよ。
	+ あいが声を掛けたときに、やめればよかったのに。
	+ ゲームを先にやりたい気持ちはわかるけど、道具の絵を先に描いてからゲームをやればよかった。

○みき* ルールを破ってはいけないよ。
* ルールを破ったのもいけないし、それを誘ったのもいけない。

○あい* ちゃんとルール守ろうとしてえらいね。
* あいもしかたなくついていったからいけないよ。
* もっと強く止めるか、それでも止まらなかったら先生に言わなきゃいけない。

　②　自分はなぜその考えが大切だと感じたのか。自分が発表した意見がなぜ大切だと思ったのでしょう。理由を発表しましょう。　　ア=　約束を守らないとどうなるかを考える…自分勝手な考えで行動するとまわりの人に迷惑がかかるから約束を守る。　　イ=　約束の必要な意味を考える。…意味を考えれば、簡単に約束を破らなくなる。　　ウ=　他の人がやっているから、という考えをなくす。…他の人がやっているから自分だけが悪いんじゃないという考えだと、どんどん約束を破る人がでてきてしまう。　③　自分が、友だちの意見で、「なるほど」「はっとした」「その通りだと思った」「その考えもらい！」と思えることを。　　・　自分はよくやりたいと思うことを優先させちゃうけど、アの意見を聞いて人に迷惑がかかるからやってはいけないと思った。　　・　最初は、きまりは守らなきゃいけないと思っていたけど、ウの意見を聞いて自分も人のせいにしてしまうことがあって、はっとした。 | * 教師の語りで教材を提示する。
* 登場人物それぞれに対する思いを、素直に出させる。
* 児童の発言を整理しながら、板書する。
* 発言した児童の名前プレートを貼る。
* 児童から意見が出にくい時は、「こういうのもあっていいよ」と言ってヒントを出す。
* いろいろな視点から、意見を出させる。
* 考えがもてた児童から起立させる。
* 同じ意見だった場合は、着席していく。（同じ意見にネームプレートを貼る）

・　まだ、自分の考えをはっきりさせていない児童には、名前プレートを黒板に貼らせ、自分の考えを明らかにさせる。・　さまざまな考え方の中から、自分が特に大切だと思えることを話し合わせる。* 大切だと思う考え方を選ばせる。

・　理由を述べたりすることで、互いの価値観を高めるとともに、自己の価値観の自覚を深める。・　自分がなるほどと思った考えをなぜそう思ったのか理由を合わせて発表させる。・共感した意見にマグネットを貼る。 |
| まとめ(8) | ３　授業で自身が大切だと思ったことをまとめる。* 授業後アンケートを書く。
 | この授業でどんな考えを持ち、今後の生活にどう活かしていきたいか。 |

７ 評 価

きまりを守らなければいけないと理解しつつ、ゲームをやりたい誘惑に負けてしまったけんじ。その主人公の気持ちや行動に対して共感したり批判したりすることを通して、きまりやルールを守らなければいけないという気持ちは高まったか。

＜授業前＞ ＜授業後＞

○ まわりに迷惑をかけないため、すすんできまりを守ろうとする。

○ 他の人が破っているかではなく、何のためにきまりを守るか考える。

○ 自分の気持ちを優先して、きまりを破ってしまう。

○ 他の人が破っているから自分も誘惑に負けてきまりを破ってしまう。

じゅぎょうの後で《アンケート》

１．今日のじゅぎょうで、わかったことを書きましょう。

２．今日のじゅぎょうを終えて、同じような場面でどう行動しますか？